

栃木県鹿沼市立北押原中学校

第2学年出張授業資料

働くとは何かを考えよう

一生勉強、一生青春

—学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)ようにしよう—



2026年2月24日(火)

13時20分から15時00分

(授業25分+質疑応答5分)×3回

開倫塾塾長

開倫塾日本語学校理事長・校長

林 明夫

＜働くことの意義、喜び、楽しさ、厳しさ＞

Q1：働くことの意義、喜び、楽しさ、厳しさとは何ですか

A (1) 「働く」とは、「仕事をすること」です

(2) 「仕事をする」とは、

- ① 「製品(もの)」や「サービス」を
  - ② 「お客様」に提供して、
  - ③ お客様の「困っていること(問題)を解決」することで、
  - ④ 「お客様のお役に立つこと」です

(3) すべての仕事には、「お客様」がいます

(4) 「お客様のお役に立つ」とは、

「お客様の困っていること、問題を解決すること」です

(5)同じようなお客様が、「世の中」にはたくさんいらっしゃいます

仕事とは、「お客様のお役に立つこと」「世の中のお役に立つこと」です

○「お役に立てる」ことは「楽しみ」「喜び」です

ただし、世の中は、激しく変化し続けるので、「お客様の困っていること」も、どんどん変化し続けます。競争相手も、あちこちからどんどん出続けます。これが、「仕事の厳しさ」です



—<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク」です>

(1) 皆様の興味のある仕事は何ですか。1つ書いてください。

(2) その「仕事」はどのような「製品」や「サービス」を提供していますか。

(3) その「仕事」の「お客様」はだれですか。

(4) 「お客様」の「困っていること」「問題」「課題」は何ですか。

## ＜学ぶことの大切さ＞

Q 2 : 学ぶことの大切さとは何ですか

A : (1) 学べば学ぶほど

- ① 「多様な選択肢のある人生を歩むこと」  
(人生の選択肢が多様になります)
  - ② 「正常な社会の形成に貢献すること」  
(社会のお役に立てます)
- } ができます



(2) 「基礎教育」・・・「読み・書き・計算」が最重要、基本のキです

(3) 「深い理解」・・・「学んだことを自分のことばでいえる（表現・説明できる）」

(4) 各学校の、各学年で学んだことは、社会ですべて役に立ちます

① 仕事、社会的な活動、日々の生活、よく生きる上で、すべて役に立ちます

② 一生役に立ちます。役に立たないことは何もありません

③ 教科以外の、学校での教育活動も、全部役に立ちます

○ 「定期試験」や「高校入試」の対策勉強も、学んだ内容を、復習・理解し、定着させ、応用力を養うので、全部役に立ちます

(5) ① 全部役に立つので、各学校の教科書、授業ノート、辞書、地図帳、年表などは、学校を卒業しても、処分しないこと。キチンと保存

② 卒業後も、折に触れて、「学び直す」

③ 「一生かけて、学び直す」ことを、おすすめします

## ＜会社とは＞

Q 3 : 会社とはどういうところですか

A : (1) 仕事をして、お客様や、社会の、お役に立つところです

(2) 仕事を一人ではできません。チームプレイで行います

・ チームプレイとは、自分のポジションは、自分で、責任をもって守り切るということです

(3) すべての仕事には、「リーダー」がいます

・ 「リーダー」の仕事は、メンバーと一緒に、「目的地（ゴール）」に向かって、突き進むことです

## ＜学生時代に学んでほしいこと、身につけるべきこと＞

Q 4 : 学生時代に学んでほしいこと、身につけるべきことは何ですか

A : (1) 社会に出てからも、学ぶことは山ほどあります。一生にわたってあります

(2) 「自覚をもって学ぶ力」「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」を身につけること

(3) 「効果の上がる学習方法」「学び方を学ぶ力」を身につけること

① 「復習」「まとめノート」

② 「音読練習・暗唱」「書き取り練習・暗記」「計算・問題練習」

\* 全教科、教科書を、スミからスミまで覚えて「定期試験」に臨む

\* 英語は、教科書や一度学んだテキスト・問題集の英語を、スラスラ

よく読めるようになるまで「発音練習・暗唱」を

③ 「教科書・問題集は、徹底的に予習（何がわからないかをはっきりさせてから、授業に臨むのが、予習の意味）」



(4) 「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しみ、「読解力」を身につける

① 意味のよく分からぬことばに出会ったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書で調べること。「ことばは力」「語彙力（ごいりょく）は力」です

② 新聞を、毎日、30分以上、一面から、舐めるように読む。新聞を、毎日読み、自分で考える力、批判的思考（クリティカル・シンキング）能力を身につける

・「英字新聞」も、毎日読む

(5) 「5S（ごえす、Sではじまる5つのことば）」も社会に出て役に立ちます

① 「整理」（seiri） … 「いらないものを処分する」



② 「清掃」（seisou） … 「きれいに掃除をする」

③ 「整頓」（seiton） … 「ものは同じ場所に置く」

④ 「清潔」（seiketsu） … 「①～③を保つ」

⑤ 「躰」（shitsuke） … 「自分から進んで行う」

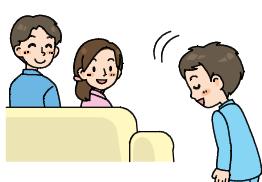
(6) 別の意味の「躰」も大切です

① 「美しい立居振舞い」 … 「服装第一」その場にふさわしい「服装」も大切

・ After you（お先にどうぞ）

② 「美しい言葉遣い」 … 「敬語表現を含む言葉遣い」（です、ますで話す）

③ 「元気なあいさつ」 … 「あいさつはこちらからする」



＜好きなことば＞

Q 5 : 最後に一言どうぞ。好きなことばはなんですか

A : (1) 「練習で泣いて、試合で笑え」 椎名弘先生

(2) 「スポーツの3つの宝」 小泉信三先生

① 「練習は不可能を可能にする」

② 「フェアプレイ」

③ 「よき友」



(3) 「積小為大（せきしよういだい）」 二宮尊徳先生

<プロフィール>

- ・足利市立山辺中学校卒業
- ・栃木県立足利高等学校卒業
- ・慶應義塾大学法学部法律学科卒業
- ・29歳まで慶應義塾大学司法研究室研究生
- ・29歳の時、開倫塾を創業、現在に至る
- ・マニー株式会社社外取締役(2004～2010年)

<現在>

- ・宇都宮大学大学院工学研究科客員教授、作新学院大学客員教授
- ・社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑監事(足利市)
- ・学校法人有朋学園有朋高等学院理事長(福島市)
- ・一般社団法人 栃木県生産性本部 会長(宇都宮市)
- ・CRTラジオ栃木放送「開倫塾の時間」、「社会人を含め効果の上がる学習方法」をお伝えする番組を担当。40年目。毎週土曜日午前9時15分～25分に放送中！

